

ボナンタゴン

アピカホールから
あなたに

Vol.108

2023.4月-6月

河野文昭
(チェロ)

玉井文保
(ヴァイオリン)

村上成美
(フルート)

大野かおる
(ヴィオラ)

5/14 (日)
第156回しばざくらコンサート
アンサンブル of トウキョウ
〈風薫る五月にお届けするハーモニー〉

■文化事業 覧表 (別紙)

音楽の話・輪・和・Wa
ホールに込められた願い

対談 弘中 孝
■寄稿 中安 修也

新・おんがく談義

■寄稿 大谷 幸

六月二十五日

Stella Apika Concert
『大谷幸×小林万希子
ピアノコンサート』

■寄稿 村上 成美

第156回
しばざくらコンサート
アンサンブル of トウキョウ
五月十四日

西脇市立音楽ホール

Apika
アピカホール

5月14日(日) 14時開演 (13時30分開場)

第156回しばざくらコンサート

アンサンブルofトウキョウ 《風薫る五月にお届けするハーモニー》

フルート奏者 村上 成美

ボナンタゴン読者の皆さま、こんにちは。
フルート奏者の村上成美です。5月14日に行なわれますアピカホールでの演奏会では、私が活動を共にしております、アンサンブルofトウキョウのメンバーと一緒に再び舞台に立てる機会をいただきましたことを、大変光栄に思っております。

前回、アピカホール25周年記念をアンサンブルofトウキョウで演奏させていただきました一昨年2021年は、コロナ禍の真只中でしたが、皆さまのご理解ご支援に支えられ、延期の上にやっと開催された折には、私達も人前で音楽を演奏出来る喜びを肌で感じる事が出来、お客様からも「やはり生の音楽は本当に最高ですね」と沢山お声を掛けていただき、幸せなひとときでした。また、昨年秋に「～絵画と音楽が奏でる平和への祈り～西脇市より世界へ、ベン・シャーンとフルートの共演」を開催していただき、昨今のコロナや戦争に苦しむ世の中において、音楽や美術が人間の心の癒やしとなる、かけがえのないものであることを実感致しました。

さて、アンサンブルofトウキョウは私の恩師であるフルート奏者で東京芸術大学名誉教授をされていた金昌国先生の呼び掛けで1986年に結成されました。現在一年に4回の東京での定期演奏会があり、来年には第150回が控えています。しかし誠に残念ながら、金昌国先生は昨年2022年7月15日にご逝去されました。芸大入学以来、長年にわたりご指導を

いただき、フルート奏者として私を育てて下さった大恩師です。大学卒業時に、故郷である西脇市民会館でリサイタルを開催した時には、金先生が率先してプログラムを決めて下さり、何とわざわざ東京から応援に駆けつけて下さり、デュエットまでして下さいました。長い年月にわたりご指導をいただきました金先生に深く感謝し、心より哀悼の意を表したいと存じます。

アンサンブルofトウキョウでは幾度となく貴重な演奏の機会を与えていただきました。思い出に残る、J.S.バッハ「ブランデンブルク協奏曲第4番」は、先生と一緒に演奏会で何度も演奏させていただき、レコーディングまで残せた曲です。また、金先生の指揮でバッハのミサ曲や、モーツァルト、ベートーヴェンのシンフォニー等を沢山演奏出来た事も思い出深いです。

今回の演奏会に出演して下さい、ヴァイオリンの玉井菜採さん、ヴィオラの大野かおるさん、チェロの河野文昭さんも、先生の信頼厚いメンバーです。一昨年にアピカホールを訪れた時には、ホールの音響をとてにも気に入って下さり、西脇の風景や食べ物、そして何よりも心温かい皆さまと接し、「また、訪れたい!」と言って下さいました。

玉井さんは滋賀、河野さんは京都ご出身で、私を含め関西愛溢れる3人です。

演奏曲目は、G.P.テレマンの「ソナタ 二長調 作品40」(フルート、ヴァイオリン)、L.v.

ベートーヴェンの「セレナーデ 作品8」(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)、F.ドヴィエヌの「二重奏 作品5-3」(フルート、ヴィオラ)、L.v.ベートーヴェンの「ドン・ジョヴァンニの“お手をどうぞ”による変奏曲」(フルート、ヴァイオリン、ヴィオラ)、W.A.モーツァルトの「フルート四重奏曲 ハ長調」等、4人の演奏者の多彩な組み合わせによる音楽をお楽しみいただけるはずです。

このプログラムの中には、最近レコーディングし、今春発売予定のCD、〈A.シスレー

“音と空のきらめき”〉に収録された音楽も入っております。フランスで活躍した印象派の画家A.シスレーによる油彩画〈セーヴルの坂道〉がジャケットの表紙を飾り、絵の中の当時の風景へいざなう色彩感ある繊細な演奏を目指しています。

最後になりましたが、再び故郷西脇で皆さまの前で演奏出来ることを、私は大変嬉しく思っております。メンバー一同、心より楽しみにしておりますので、どうぞご期待下さい!

プログラム

- ♪ G.P.テレマン：ソナタ 二長調 作品40
- ♪ L.v.ベートーヴェン：セレナーデ 作品8

♪ F.ドヴィエヌ：二重奏 ハ短調 作品5-3

♪ L.v.ベートーヴェン：ドン・ジョヴァンニの「お手をどうぞ」による変奏曲 ハ長調

♪ W.A.モーツァルト：フルート四重奏曲 ハ長調

～アンサンブル of トウキョウ～



村上成美
(フルート)



玉井菜採
(ヴァイオリン)



大野かおる
(ヴィオラ)



河野文昭
(チェロ)

1986年フルート奏者故金昌国(東京藝大名誉教授)の呼びかけにより結成したアンサンブル。バロック時代から近現代に至るまで、さまざまな形態の室内楽と小編成のオーケストラをレパートリーとし、メンバーは国内外のコンクール入賞者やNHK交響楽団、東京芸術大学教授、ミュンヘンフィルハーモニー管弦楽団、藝大フィルハーモニアなどで活躍する19名から成る。

創立より年4回、紀尾井ホールや東京文化会館小ホールで定期演奏会を開催し、現在137回を数えている。定期演奏会では国内外からゲスト奏者を迎えての演奏会も行なっている。また宗教曲の演奏にも定評があり、指揮者や合唱団からの信頼も厚い。演奏活動は国内に留まらず、これまでにドイツ、フランス、イタリア、モンテネグロ、アメリカ、韓国のコンサートや音楽祭に出演している。第15回日本管打楽器アカデミー賞(特別部門)、第23回日本音楽コンクール委員会特別賞受賞。

マネージメント：有限会社 オフィスジュピター

6月25日(日) 14時開演(13時30分開場)

Stella Apika Concert

『大谷幸×小林万希子 ピアノコンサート』

ピアノ 大谷 幸

ボナンタゴンをご覧の皆さま、こんにちは！
アピカホールから誕生した、Stella Apika
(ステラ・アピカ) が4回目のコンサートを
開催させていただくことになりました。Stella
とは、イタリア語で『星』を意味します。キラ
リと光る音楽、キラリと輝く演奏家を目指
し、北播磨地域を中心にメンバーが集まり活
動しています。

私が初めてアピカホールの舞台に立たせて
いただいたのは2010年のアピカ・フレッシュ
コンサートの時でした。素晴らしいスタイン
ウェイのピアノと美しく柔らかなホールの響
き、そして緊張している私にとってなんと温
かい客席の雰囲気。その後もStella Apikaと
してもこの舞台に立たせていただいてしまし
たが、いつも温かく見守り聴いて下さる皆さ
まに、こちらが感謝の気持ちでいっぱいにな
ります。

演奏家にとって演奏する場所や環境はとて
も大切だと思います。演奏できる場所がある
こと、そしてその時間を共有し音楽を聴いて
くださる方がいらっしゃる、さらに一緒に
音楽を作り高め合える仲間がいてこそ、演
奏家は常に高みを目指して音楽と向き合える
のだと思います。

Stella Apikaはまさにそういう場所なので
す。たくさんの方に音楽を楽しんでいただ
けるよう、メンバーでいろいろなコンサートの
企画・運営もしています。音楽文化の向上を
目指しながら、そしてそういう場に向けメン
バーは新たなチャレンジをしたり、自身のス
キルアップに向けコンサートの機会を作っ
ています。

今回のコンサートは小林万希子さんと大谷
幸の2人で出演させていただきます。日々ピ
アノレッスンをしながら音楽を伝える側にも
なりましたが、やはり生涯学ぶ身でもありま

す。今回のこの機会に私達も新しい曲にも取
り組んでみました。

世界中には数え切れないほどの素敵な曲が
あるので、「一生の間に一体何曲と出会い、
何曲を实际演奏してみることが出来るのだろ
う…」と時々考えてしまいます。一曲でも多
くの曲、一人でも多くの作曲家の世界に触れ
たいという気持ちでいますが、Stella Apika
があることでその機会をいただき本当に嬉し
く思います。

小林さんはロマン派の代表ともいえる、ピ
アノの詩人ショパンの世界を届けてくださ
います。ショパン後期の華やかで美しいプロ
グラムです。人生を重ねてきたショパンの奥
深さや豊かな音の世界観を、小林さんの上品な
音色でお楽しみいただけるのでは、と思います。

私はベートーヴェンとドビュッシーの作品
を演奏させていただきます。ベートーヴェン
の情熱的な作品と、美しい絵画を観ているよ
うな気分になるドビュッシーの作品、それぞ
れの作曲家の世界を感じていただけるような
演奏をお届けできればと思います。

また今回の連弾では、私達の大好きな曲や
皆さまに聴いていただきたい曲を選びました。
ピアノは1人で10本の指を使い複数の声部
を同時に演奏することができる楽器なので、
『ひとりオーケストラ』と言われたりもします。
他の楽器に比べソロの機会が多い楽器なので、
ソロとは違い2人で音楽を作るという機会に
私達はとてもワクワクしています！2人で、
華やかで厚みのある豊かな表現を目指したい
と思います。ソロとはまた違った連弾の魅力
をお伝えできれば嬉しいです。

アピカホールが皆さまと繋がる場所となり、
共に音楽を感じられることに感謝いたします。
6月に皆さまとお会いできるのを楽しみに、
アピカホールでお待ちしております！



大谷 幸

小林 万希子

大谷 幸

加西市出身。

大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒
業。

第20回アピカ・フレッシュコンサートに出演。
関西フィルハーモニー首席指揮者藤岡幸夫氏
指揮関西フィルハーモニー管弦楽団と共演。
ソロの演奏活動の他、伴奏の演奏活動にも力
を注ぎ、弦楽器、声楽、管楽器等の伴奏者と
して数々の演奏会に出演する。
これまでに新理恵子、孝橋由美子、植田定和
の各氏に師事。

現在、子供から大人までの幅広い年代を対象
にピアノの指導に力を注いでいる。

小林 万希子

多可町出身。

大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒
業。同大学卒業演奏会に出演。在学中に、第
33回霧島国際音楽祭にて練木繁夫氏のマス
タークラスを修了。

第22回アピカ・フレッシュコンサートに出演。
2015年にカワイ梅田コンサートサロン“ジュ
エ”にてリサイタルを開催する他、器楽、合
唱等の伴奏やソロでの演奏活動を行なってい
る。

これまでに楠宮子、大西隆弘、藤井快哉の各
氏に師事。現在、多可町にてピアノの指導に
あたっている。

プログラム

大谷 幸 ♪ベートーヴェン：ピアノソナタ 第8番「悲愴」
♪ドビュッシー：月の光

小林万希子 ♪ショパン：前奏曲第7番 作品28-7 / マズルカ 作品59
：舟歌 作品60 / 子犬のワルツ 作品64-1

連弾 ♪バッハ：羊は安らかに草を食み
♪フォーレ：ドリー組曲
♪ブラームス：ハンガリー舞曲 第1番、第5番



特別対談

♪2「弘中孝、ピアニストとしての軌跡」

聞き手：中安 修也（兵庫県立播磨南高等学校教諭、ピアニスト）

第2回：コンクール挑戦と留学時代

中安：学生時代に入られてからは、様々なコンクールに挑戦されタイトルを獲られていくことになります。1961年には、日本で最も権威のある日本音楽コンクールのピアノ部門で第1位を獲られました。当時の毎日新聞の記事には先生が本選会で演奏されている様子が掲載されていますが、この時に何を演奏されたか覚えていらっしゃいますか？

弘中：その時の本選会は、ピアノ協奏曲とソロとの両方が課題で、協奏曲の方はモーツァルトで、ソロの方はラヴェルの「クーブランの墓」のメヌエットとトッカータだったかな。

中安：同じく当時の新聞記事には本選会の採点表も掲載されています。それを見る限りでは、他を圧倒しての第1位でした。

弘中：若い人にもよく言っているけど、コンクールの採点というものは、今も昔もあまり当てにならない。採点方法にしても、これが絶対というものはない。

あるとすれば、それは時の運かな。例えば、第1位と第2位以下とは、その後のチャンス（＝演奏家としての経験値）が違ってくこともあるから、そういう意味でもコンクールで1位を獲るには運が必要だよな。

中安：その後、アメリカのジュリアード音楽院に留学されますが、当時、弘中先生世代の多くの音楽家の方々が、アメリカに行かれています。なぜヨーロッパではなく、アメリカに行くのが時代の潮流だったのでしょうか？

弘中：第2次世界大戦時に、戦禍を逃れてきた若くて優秀なユダヤ人音楽家がたくさんアメリカに集まってきたからだと思う。その人たちが、アメリカ各地で教え始めて、つまり良い先生がたくさん居たわけだね。でも、やっぱりクラシックは何といってもヨーロッパ発祥の土着の音楽だから、ヨーロッパに行って初めて「クラシックってこうだ！」と肌で感じるときがあるんだよね。そういう感覚はアメリカには無かったかな。



中安：その後、フランスに行かれますね。

弘中：アメリカはちょっと違うかなと思って、2年居たあとにフランスへ行った。日本、アメリカ、フランスとそれぞれの地で勉強したけど、こんなにも土地によって音楽観が違うのかと、ある種の文化的ショックがあったね。その土地の人種のルーツが違ってくると、根本的な何かが全然違うんだよ

ね。その時にハッと気付いたんだけど、自分の中にも「日本人」という、どうしてもできないルーツやアイデンティティがあるんだなと。だから、勉強してきたそれぞれの土地の音楽観のどれを選んだら良いかではなくて、自分だったらどうするかということを肌で覚えた。そうすると、自ずと練習方法や曲の選び方などで変化が出てきて、自分の中にあるルーツが生きてくるんだよね。自分はこう弾きたいとかという理想像が見えてくるようになる。そのためには自分は何かってことに気付かないといけない。色んな場所で違うものを見ていくってことは、とても大切なことなんだよね。

第3回へ続く

プロフィール 弘中 孝 ピアノ (Takashi Hironaka)

6歳からピアノを始め、東貞一、井口愛子、井口基成の諸氏に師事。桐朋学園に学ぶ。1961年第30回日本音楽コンクール第1位、特賞ならびに安宅賞を受賞。その後ヴァン・クライバーン国際コンクール入賞。シフラ国際コンクール第1位、ロン＝ティボー国際コンクール第4位入賞。1963年から65年フルブライト給費留学生としてジュリアード音楽院に留学。S.ゴロニツキー教授に師事。66年から69年マルセイユ音楽院にてP.バルビゼ氏に師事。69年より本格的な演奏活動に入り、国内外で活躍。オーケストラとの共演を始め、リサイタルや室内楽の分野でも74年結成した桐五重奏団を中心に活動を展開している。また国際コンクールの審査員や音楽祭ディレクターを務めるなど多彩な活動を続けている。2013年3月まで東京音楽大学教授。ソロCDとして「ブラームス：ピアノ作品集」、「シューマン：交響的練習曲／ブラームス：ヘンデルの主題による変奏曲とフーガ」をリリース、いずれも高い評価を得る。





イベント情報

第27回「アピカ・フレッシュコンサート」

アピカ・フレッシュコンサートは「地元出身」で、音楽系大学を卒業された方を対象にこれからの活躍を期待して開催します。

4月23日(日) 15時開演(14時30分開場)

会場 西脇市立音楽ホール「アピカホール」
入場料 1,000円(全席自由)※当日券同額

地元演奏家のフレッシュで力強い演奏を、
温かい拍手で応援してください♪

みつえだ 光枝 ゆう 優 (ピアノ・西脇市出身)

♪モーツァルト:

グルックの歌劇《思いがけない巡り会い》の
「われら愚かな民の思うは」による10の変奏曲 ほか



今回のコンサートには、音楽を専門に学び、活動している演奏家の登録グループ、Stella Apikaより2組のアーティストが出演します。

小林万希子 (ピアノ)

♪シューベルト: 3つのピアノ曲 D 946より 第1番 変ホ短調 ほか

高木美香・大西隆弘 (ピアノ連弾)

♪ドヴォルザーク: スラブ舞曲集より

♪ラヴェル: 亡き王女のためのパヴァーヌ

アピカホールの音楽教室生募集

一緒に音楽を奏でませんか?

♪初心者ヴァイオリン教室

アピカホールではヴァイオリンを基礎から学ぶ「初心者ヴァイオリン教室」を開講しています。

最初は楽譜が読めなくても、みんなと一緒に練習に取り組めばホールのステージで演奏できる日が必ずやってきます!

一緒にヴァイオリンの魅力を体験しましょう!

対象: 北播磨地域在住でヴァイオリンに興味のある小学1年生~中学3年生

と き: 土曜日/月3回程度

内容: ヴァイオリンのグループレッスン

年に一度、Apika Junior Strings (アピカホール弦楽アンサンブル教室)とコンサートを開催します。

参加料: 5,000円/月(教材費は別途必要)

♪アピカホール弦楽アンサンブル教室

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスによる弦楽アンサンブル教室を開講しています。みんなで楽しい弦楽合奏を体験しましょう!

対象: 北播磨地域在住で、弦楽器を習っている小学4年生~高校3年生

と き: 月3回程度の週末

内容: 合奏練習、パート練習、年に一度、コンサートを開催します。

参加料: 3,000円/月

講師: 藤井允人先生・久保ふみ先生・山本英恵先生・西山枝里先生・森川笑里奈先生
見学希望・お申し込みは

西脇市立音楽ホール「アピカホール」までよろしくお願いいたします。

和'on Music Studio
音楽教室 Music School
レンタルスタジオ Rental Studio

リトミック、ピアノ、キッズダンス
ヴァイオリン、フルート、アコースティックギター
箏、三味線、尺八

〒670-0896 兵庫県姫路市上大野 6-5-12
TEL 079-227-4585
E-MAIL info@wa-on.biz
https://wa-on.biz/studio



懐かしいメロディーを聴きながら、
ゆっくりとした時間をお過ごし下さい
各種中古レコード販売・買取、
懐かしいオーディオ製品・アナログ
レコード処分等にお困りの方は、
何なりとご相談ください。
レコードクリーニングもOK!!
まずは携帯にご連絡ください。

アナログ道楽
隠れ家 YU-
~甦る蓄音器~

SP盤に
魅せられて

営業時間 12:00~18:00
定休日 毎週日・月曜日
※イベント等で不定休有

〒677-0056
西脇市板波町150-2
携帯 090-2116-8930



宴会・結納・結婚式・披露宴・食事会・パーティー
同窓会・会議セミナー・展示会・法要 等承ります。

西脇ロイヤルホテル

Daiwa House Group®

〒677-0015 西脇市西脇 991
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

詳しくはオフィシャルホームページで
▶▶▶ <http://www.nishiwaki-royalhotel.jp> 西脇ロイヤルホテル 検索

総合建設業 一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者

WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.

和以建設 株式会社

〒677-0018 西脇市富田町36
電話 0795-22-5651(代)



音楽の
話・輪・和・Wa

ホールに
込められた願い

山口 知哉

平成2年3月31日、「ありがとう鍛冶屋線イベント」のフィナーレ。先頭車両にギフ蝶のプレートを掲げ、JR西脇駅から4両編成の下り最終列車が発発。ホームには溢れんばかりの人・人…。目を真っ赤にしながら、「ありがとう」と声を掛け、最後の雄姿を見届けました。この日をもってJR鍛冶屋線は廃線。西脇市の玄関口であったJR西脇駅も様々な思いが交錯する中、その役目を終えました。

まちの核となる駅がなくなる大打撃を受けましたが、この地を再整備して地域経済の活性化と北播磨地域の中心となる都市核を創出しようと進め

られたのが「アピカ西脇」の整備。廃線後6年4か月という極めて短期間で完成したところに、廃線をマイナス要素にさせない、次代に向けて新たな拠点をつくり上げるという強い意気込みを感じます。

余談ですが、「アピカ」とはエスペラント語の「まっすぐな」という形容詞で、2つの棟が天に向かって伸びていく様、西脇市が将来に向けてまっすぐに発展する願いが込められているとされています。

当時、人々の意識がモノの豊かさから心の豊かさを求める時代となり、アピカホールは身近に本物の音楽を楽しめる、都市核にふさわしい文化の拠点との方向づけがなされていました。ホール建設に当たっては、宮城県加美町の中新田バスハール等を参考に、室内楽

に最適とされる1・4秒の残響音、ゆったりとしたスペースの客席配置、スタインウェイピアノの設置など、豊かさを実感するための様々な工夫と拘りがあちらこちらに。開館から27年を迎えた今も、内陸の小都市まで素晴らしい演奏者が気持ちよく来訪されている背景には、小さいながらもキラリと輝く素晴らしいホールと、これを管理・運営の両面から支えてくださる皆さんの存在があってこそだと確信しています。

ひと時、過去の経緯などを振り返りつつ、ホールに込められた願いが実現できるよう30周年・50周年に向けて皆さんと力を合わせて前進していければこの上ない喜びです。

(公財)西脇市文化・スポーツ振興財団事務局長

編集後記

来る5月14日、「アンサンブルofトウキョウ」公演に先だって、村上成美さんから原稿をいただきました。生まれ育った西脇に対する恩返しの気持ちが読み取れます。このように毎回、出演者の方に演奏に先だっの思いを、本誌で紹介しています。面倒なお願いにもかかわらず、皆さんには快くお引き受けしていただき有難いことです。

3人のN響若手弦楽奏者と、東京芸大准教授で女性オーボエ奏者との演奏を、2月にアピカホールで聴きました。人が歌う音域と重なる音域が得意なオーボエが加わった演奏を堪能しました。やはり生の音楽はよいものです。

コロナ禍になり3年。3月半ばからマスク着用を、個人の判断に委ねるとの報道を耳にします。マスクが自由とあって、感染の心配が無くなることにはなりません。対応が悩ましいところですが、コロナ禍以前の状態に戻ることを祈るばかりです。 Tam

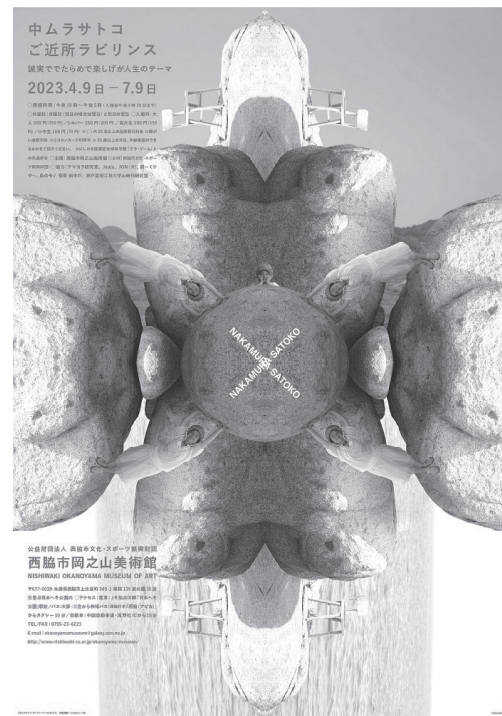
●本館ギャラリー

第27回企画展 「中ムラサトコーご近所ラビリス」展

誠実ででたらめで楽しげが人生のテーマ

4月9日(日)～7月9日(日)

一つのジャンルに収まらない型破りな自在さをモットーに活動する作家の映像と、多領域の人々とのコラボレーションやワークショップの仕事を紹介します。



横尾忠則デザイン
「中ムラサトコ」展ポスター

開館時間 午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)
入館料 大人300円(250円)、シルバー250円(200円)、高・大学生200円(150円)、小・中学生100円(70円)
※()内20名以上の団体割引料金
※障がい者割引有
※コロナカード利用可
※にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」との共通券有
※65歳以上の方は、年齢確認のできるものをご提示ください。
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日
※ゴールデンウィークは5月1日(月)のみ休館

西脇市
岡之山美術館
TEL.0795-23-6223

●アトリエ

アトリエ展

ユニークな表現で独自の世界を展開する現代美術家の個展を開催します。

- VOL.1 ●「領家裕隆」展
4月11日(火)～30日(日)
- VOL.2 ●「小林隆之」展
5月2日(火)～21日(日)
- VOL.3 ●「池上典衣」展
5月23日(火)～6月11日(日)
- VOL.4 ●「堂東由佳」展
6月13日(火)～7月2日(日)

※アトリエ入館無料
※会期の最終日は午後1時まで。

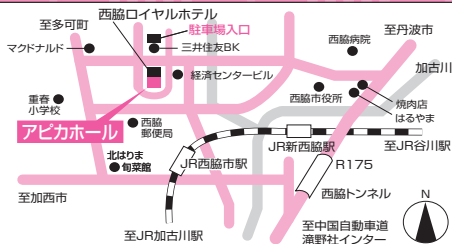
<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>
ホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。
ブログ「美術館日記」もご訪問ください。

アピカホール 催しガイド 4月～7月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日)

月/日(曜日)	催 物 内 容	時 間	入 場 料 等	主 催 ・ 問 合 せ	特集記事
4/1(土)	くすのきリトルピアノコンサート	13:00～	関係者	楠 宮子	
4/8(土)	第27回 「リトルピアニストの大きなコンサート」説明会	10:30～ (受付10:15)	出演予定者	アピカホール ☎0795-23-9000	
4/15(土)	西脇ロータリークラブ創立60周年記念式典	15:00～16:30	関係者	西脇ロータリークラブ	
4/16(日)	アピカ児童合唱団・混声Còroアピカ 第8回 定期演奏会 ※会場：西脇市民交流施設 オリナスホール	13:30開演 (13:00開場)	一 般 2,000円 中学生以下 1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	
4/23(日)	第27回 「アピカ・フレッシュコンサート」	15:00開演 (14:30開場)	1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
5/3(水・祝)	Music*Harmony音楽教室 エレクトーン・ピアノ発表会	13:00～	関係者	藤原 恵理佳	
5/14(日)	第156回しばざくらコンサート アンサンブルofトウキョウ	14:00開演 (13:30開場)	一 般 3,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P2-3
5/20(土)	蓄音器で味わう名曲シリーズ 第22回 懐かしの昭和歌謡Ⅱ	14:00開演 (13:30開場)	500円 (駐車場代別途)	アピカホール ☎0795-23-9000	
5/28(日)	グリーンエコーズ&三代目コーラス発表会	14:00～	入場無料 整理券あり 駐車場代別途	渡辺 友江 ☎090-7481-5782	
6/18(日)	岩見玲奈 マリンバリサイタル	14:00～	一 般 3,000円 18歳以下 1,000円	岩見 一美 ☎080-4010-1096	
6/25(日)	Stella Apika Concert 「大谷幸×小林万希子 ピアノコンサート」	14:00開演 (13:30開場)	一 般 1,000円 高校生以下 500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P4-5
7/21(金) 22(土)	アピカでスタインウェイ 2023 (※事前申し込みが必要です)	各日 10:00～17:00	A:30分2,000円 B:60分4,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についての質問は、各主催者までお問い合わせください。



交通アクセス

<バス>中国ハイウェイバス西脇営業所行き
「西脇」下車すぐ。

三ノ宮～西脇線(神姫)「西脇」下車すぐ。
<鉄道>JR古古川線「西脇駅」より徒歩約20分。

<車>中国自動車道 滝野社ICより国道175号線
を北へ約15分。

■編集：ポナンタゴン編集委員会

■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
ポナンタゴン：こんにちは
(エスペラント語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991
TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-9031
http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2023年3月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。

アピカホール ポナンタゴン 検索 ◀ホームページでもご覧いただけます。

文化事業一覧表

(2023年度)

西脇市立音楽ホール(アピカホール)

日 時	内 容	入場料等	会場・問合せ
4月8日(土) 10:30~	第27回 「リトルピアニストの大っきなコンサート」出演者説明会	関係者 (駐車場代別途)	<p>アピカホール ☎0795-23-9000</p> 
4月16日(日) 13:30開演	アピカ児童合唱団・混声Còroアピカ 第8回定期演奏会 ※会場：西脇市市民交流施設 オリナスホール	一 般 2,000円 中学生以下 1,000円	
4月23日(日) 14:00開演予定	第27回 「アピカ・フレッシュコンサート」	1,000円	
5月14日(日) 14:00開演	第156回しばざくらコンサート アンサンブルofトウキョウ	一 般 3,000円 高校生以下 1,500円	
5月20日(土) 14:00開演	蓄音器で味わう名曲シリーズ 第22回 懐かしの昭和歌謡Ⅱ	500円 (駐車場代別途)	
6月25日(日) 14:00開演	Stella Apika Concert 大谷幸×小林万希子 ピアノコンサート	一 般 1,000円 高校生以下 500円	
7月21日(金)~22日(土) 10:00~17:00	アピカでスタインウェイ 2023	参加料 30分 2,000円~	
8月5日(土) 午後	ヴァイオリン・ワークショップ	参加費1,000円 (要予約)	
8月21日(月) 14:00開演	蓄音器で味わう名曲シリーズ 第23回 笠置シズ子の世界	500円 (駐車場代別途)	
8月26日(土) 午前の部 午後の部	第27回 「リトルピアニストの大っきなコンサート」	無料 (駐車場代別途)	
10月1日(日)	第157回しばざくらコンサート 「久保陽子 弘中孝 デュオリサイタル」	調整中	
11月6日(月) 14:00開演	蓄音器で味わう名曲シリーズ 第24回 ポピュラーヒットパレードⅡ	500円 (駐車場代別途)	
12月16日(土)	第26回「アピカ・アンサンブルコンサート」	無料 (駐車場代別途)	
2024年 1月8日(月・祝)	新春 アピカ名画座	調整中	
2024年 2月11日(日・祝)	第158回しばざくらコンサート 真冬の熱いクラシック ~中村翔太郎とN響のステキな仲間たち~	一 般 3,000円 大学生以下 1,000円	
2024年 2月18日(日)	中安修也&大西隆弘 ピアノ ジョイント リサイタル	一 般 1,500円 高校生以下 500円	
2024年 2月23日(金・祝)	アピカ和楽器教室 第三回定期演奏会	無料 (駐車場代別途)	
2024年 3月3日(日)	蓄音器で味わう名曲シリーズ 第25回 珠玉のピアノ名曲集	500円 (駐車場代別途)	
2024年 3月30日(土)	Apika Junior Strings 第12回コンサート	無料 (駐車場代別途)	



文化事業一覧表

(2023年度)

西脇市岡之山美術館

日 時	内 容	入場料等	会場・問合せ
4月9日(日)～ 7月9日(日)	ギャラリー 第27回企画展「中ムラサトコ〜近所アヒルズ」展 誠実でためらめで楽しげが人生のテーマ	大 人 300円 シルバー 250円 高大生 200円 小中生 100円	西脇市岡之山美術館 ☎0795-23-6223 10:00～17:00 (入館16:30) ※詳細についてはホームページにてお知らせします。
7月30日(日)～ 12月3日(日)	ギャラリー 第28回企画展「にしわき横尾忠則コレクション」展 II		
12月17日(日)～ 2024年3月24日(日)	ギャラリー 第29回企画展「にしわき横尾忠則コレクション」展 III		
4月11日(火)～ 30日(日)	アトリエ アトリエ企画「領家裕隆」展	無 料	
5月2日(火)～ 21日(日)	アトリエ アトリエ企画「小林隆之」展		
5月23日(火)～ 6月11日(日)	アトリエ アトリエ企画「池上典衣」展		
6月13日(火)～ 7月2日(日)	アトリエ アトリエ企画「堂東由佳」展		
7月4日(火)～ 9日(日)	アトリエ 中ムラサトコ：こどもの日ワークショップ成果物展		
8月1日(火)～ 12月3日(日)	アトリエ アトリエ企画(未定)		
12月19日(火)～ 2024年3月24日(日)	アトリエ アトリエ企画(未定)		
6月・11月 2024年1月・3月(予定)	講座室ほか 美術館講座	受講料未定	
5月・7月・8月 (予定)	講座室ほか 子どもワークショップ	参加費未定	

にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」

日 時	内 容	入場料等	会場・問合せ
3月18日(土)～ 6月25日(日)	企画展 段ボールであそぼう展	入館料のみ	にしわき経緯度地球 科学館「テラ・ドーム」 ☎0795-23-2772
7月1日(土)～ 8月31日(木)	企画展 自然写真シリーズVol.28		
7月15日(土)～ 11月19日(日)	企画展 音のふしぎ展		
12月2日(土)～ 1月31日(水)	企画展 西脇市中学生理科の自由研究作品展		
3月～	企画展		
日曜・祝日 11:30～/13:30～/15:30～	子ども科学教室	1人200円 (幼児無料)	
土曜 11:30～/13:30～/15:30～	土曜ちょこっとサイエンス		
土曜・祝前日(夏休み中は金曜日も実施) 19:30～21:00	夜のスターウォッチング		

西脇市天神池スポーツセンター

〒677-0022 西脇市寺内517-1
TEL(0795)22-0072 FAX(0795)22-1899
E-mail:tenjinike@castle.ocn.ne.jp

公益財団法人文化・スポーツ振興財団 事務局 播磨内陸生活文化総合センター「ドウジウム」内

〒677-0015 西脇市西脇790-14
TEL:0795-22-5715
E-mail:nishiwaki-cs.project@star.ocn.ne.jp

西脇市立音楽ホール アピカホール

〒677-0015 西脇市西脇991
TEL(0795)23-9000
FAX(0795)23-9031
E-mail:apikahall@ever.ocn.ne.jp

西脇市立青年の家

〒677-0039 西脇市上比延町1434-8
TEL(0795)22-3703 FAX(0795)23-2528
E-mail:n.seinen@proof.ocn.ne.jp

にしわき経緯度地球科学館 「テラ・ドーム」

〒677-0039 西脇市上比延町334-2
TEL(0795)23-2772 FAX(0795)23-3110
<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/terra/>

西脇市岡之山美術館

〒677-0039 西脇市上比延町345-1
TEL/FAX(0795)23-6223
E-mail:okanoyamamuseum@galaxy.ocn.ne.jp

